

2025 年度の講義概要のデータベースを検索します。

[カリキュラムツリーへのリンク](#)

学部・研究科 Faculty/Graduate School	シ	時間割コード Course Code	62478
科目名 Course title サブテーマ Subtitle	データサイエンス応用PBL	授業形態/単位 Term/Credits クラス Class	秋/2
担任者名 Instructor	榎原 博之/徳丸 正孝/吉田 壮/宝田 隼	曜限 Day/Period	木2

授業概要 Course Description 到達目標 Course Objectives	授業種別 / Teaching Types
	講義（対面型）
	言語 / Language
	日本語(Japanese)
	授業概要 / Course Description
	データサイエンスにおいてビッグデータを解析するために機械学習は必須である。本科目では、チームを組んで教員から与えられた課題を解決するためのプロジェクトを遂行する。プロジェクトでは、まず問題を定義し、その解決方法を提案する。次に、機械学習ツールを使って、提案方法を実現し、その評価を行う。プロジェクトを通して機械学習の応用を理解することを目的とする。
	到達目標 / Course Objectives
	①知識・技能の観点 機械学習の基礎と機械学習ツールの使い方を身につける。 ②思考力・判断力・表現力等の能力の観点 プロジェクトを通して課題解決能力を伸ばす。 ③主体的な態度の観点 グループによるプロジェクトでコミュニケーション能力や協調性を養う。
	授業手法 / Teaching Methods
	・学生同士の意見交換（グループ・ペアワーク、ディスカッション、ディベート等含む） ・プレゼンテーション（スピーチ、模擬授業等含む） ・課題探究（プロジェクト学習、課題解決型学習、ケーススタディ等含む）
授業計画 Course Content	授業計画 / Course Content
	1週目 ガイダンスとグループ分け 2～13週目 プロジェクトの遂行 担当教員とプロジェクトの技術課題や進捗状況について議論 14～15週目 プロジェクト成果の報告（プレゼンテーション）とまとめ
	授業時間外学習 / Expected work outside of class
成績評価の方法・基準・評価 Grading Policies / Evaluation Criteria	プロジェクトが予定どおり進むよう各自自主的に学習することが望ましい。
	方法 / Grading Policies
	定期試験を行わず、平常試験(小テスト・レポート等)で総合評価する。 プロジェクトへの取り組みを評価する。
	基準・評価 / Evaluation Criteria・Assessment Policy
教科書 Textbooks 参考書 References	①知識・技能の観点 機械学習やそのツールに対する知識 ②思考力・判断力・表現力等の能力の観点 データサイエンスの課題に対する解決能力 ③主体的な態度の観点 プロジェクトへの積極的な取り組み
フィードバックの方法 Feedback Method	
担任者への問合せ方法 Instructor Contact	オフィスアワー 関大LMSで随時受け付けます。

備考 Other Comments	本科目を履修するためには、「データサイエンス基礎PBL」を履修していることが必須です。履修定員は20名です。
----------------------	--

Copyright(C) 関西大学および情報提供者 All rights reserved. 無断転載を禁じます